



## 市議としての2期目の歩みと、市民の声をもっと市政に!

市議としての2期目を迎え、一年が経過しました。新たに選出された最年少市長と共に新しいステップを踏み出した芦屋市は、これまで以上に多くの注目を集めています。この1年間は、新しい体制のもとで議員、職員、市民の皆様が市政の動向を慎重に見守る期間だったと思います。議員成り立ての戸惑いから、一期目の経験を自信に変え、さらに市民の皆様への期待に応えられるように積極的に行動し、議員としての使命を果たしてまいります。



### 1年の振り返り

## 高島市長就任後の芦屋市政の動向

この1年間、四回の定例会を通じて高島市長が提案された議案に対し、一番いいことを選ぶために、じっくり考えて慎重に審査を重ねてきました。特に教育と子育て支援に関する政策には、ほとんどの点で賛成できるものであり、これらの分野での高島市長の取り組みを高く評価しています。市長の教育改革への強い意思は、芦屋の子どもたちの将来にとって重要です。この点に大きな期待を寄せており、だからこそ、厳しく意見しつつも前向きに支持してまいります。

### 賛成

これはいいね!  
市長の考えと合致していること



- 乳幼児等・こども医療費助成制度を拡充**  
令和6年7月1日から年齢制限の拡大と所得制限の撤廃により、助成の対象が高校生まで含む全ての方に広がる。
- 赤ちゃんのいるご家庭に心のゆとりを。産後ケア事業の充実**  
所得基準額を緩和し、自己負担額を引き下げるとともに、対象も産後1年まで延長。訪問型を開始することで自宅でのサポートを充実。
- 子どもへの経済的支援**  
不妊治療ペア検査助成の創設や児童手当の拡充。
- 市民との対話集会の実施**  
市民ニーズを知る。市長が8か所の集会所で対話集会を実施し、10代から80代までの約200名が参加。様々な意見を聞くことで、市民が地域に積極的に関与し、異なる背景を持つ市民同士が意見交換する市民参加型の意見集約を目指している。
- 小中学校体育館への空調施設整備**  
地球温暖化による酷暑日の増加や災害時の避難所としての利用を考慮し、市立小中学校の全ての体育館に空調を設置することを決定。工事費には学校施設環境改善交付金を活用する予定。

### 反対

ちょっと疑問!  
市長の判断ミスだったと思うこと



- 教育委員に元さいたま市教育長を任命**  
私が反対した理由は「芦屋に縁がないから」ではない。新しい考えを取り入れたい意向は賛同できるものの、遠方から定期的な参加に伴う交通費は支給されず自己負担。オンラインの活用も不可な会議など、参加の実現性に乏しく、任命された方の情報不足を回避できず、受け入れ体制が整っていない唐突な人事だったのが主な原因。
- 米寿、百寿の敬老祝金の廃止**  
長寿を祝うのに「廃止」という表現は聞こえが悪い。敬老の日のお祝いとして芦屋らしい敬老祝金の文化を維持し、シルクの毛布(1万円弱)に限定せず、プレゼントを選択する形で現金支給として、祝金を提供する工夫ができたと思う。高齢者の生きがいや喜びを大事にする感謝の気持ちは継続しているのに、その気持ちが薄れてしまったように感じた。
- JR芦屋駅前の芝生広場へのこだわり**  
過去にシミュレーションを行った計画を、再開発ビルの管理処分計画の再検討が難しい段階でもう一度行った。1年の遅れが1億円の損失を生み、結局元の計画のまま。市民に不利益が生じるのに、そこまでして芝生広場の重要性を私はあまり感じていない。

## たかおか知子の議会での歩み

**【会派について】**「会派」とは、議会内での活動単位で、2人以上の議員が集まったグループです。私は中村亮介議員とともに、「芦屋しみんの未来」という2人会派を結成しました。会派の利点は、他の議員と協議する場に参加する機会が増え、これにより議員としての活動範囲が広がることです。

**【挑んでいること】**市民に寄り添いながら、新しい視点を持って議会で協議を行うことを目指します。こども・子育て施策を中心に、全ての世代が住みやすいまちにするべく、市政の新たな課題解決に挑んでいます。

**【アプローチ】**市民の皆様の声を大切に、市政の課題を洗い出し、行政が見過している重要なポイントを明らかにしていくことを心掛けています。

**【活動の目標】**議会運営の効率化を推進。従来の考えにとらわれずに新しい風を吹き込むことを目標に「意見」「情報」「人」をつなぐパイプ役として、引き続きより多くの声を行政に届けて、問題解決を図ります。市民の皆様と共に、より良い芦屋市を築くための議員活動を目指します。







## 市民の声をダイレクトに届けるチャンス

# 教育施設用地の未来に対する思いと現状

**【質問をした背景と経緯】**涼風町5番の土地は、小学校が建つ予定でしたが、2015年に計画が中止し、平成29年に市が教育施設用地として約20億円で購入しました。市は防災機能を付加した利用を図り、公募を行った結果、既存のスポーツクラブと再契約しましたが、建設計画は後回しにされ、多くの市民はこの土地が新たな市の保有地であることを知りません。市民との協議を経て施設を建設するとしていましたが、契約満了の令和9年3月31日が迫っており、計画が急務です。そこで3回にわたり一般質問しましたが、質問の内容と回答は次のとおりです。

**【私が聞きたかった内容】**地元との協議開始時期やスケジュールはいつ?学校施設環境改善交付金等の資金調達の検討は?地域交流のためには体育館、図書館、学習室などの施設が必要では?など質問しました。

**【それに対する市の対応】**一回目の令和5年6月21日の一般質問では、当局の沈黙が何度か続き、具体的には述べられず、次回に持ち越すしかありませんでした。

二回目の令和5年9月8日の一般質問でも同じ質問をしましたが、進展はなく曖昧な答弁でした。三回目の令和5年12月13日の一般質問では、急転直下の回答があり、「公共施設の最適化構想があるので、新たな建設はできない」という、これまで約束していたこととは異なる回答になっていました。

**【まとめと今後について】**結局の所、この土地活用については、曖昧な回答にごまかされ続けてきました。市民は具体的な行動と進展をずっと期待しています。今度こそ市民ニーズを把握し、納得できるプロセスを進めてほしいと願いつつ、今後もこの問題を追及していきます。



## 取り組みと実績

# 民生文教常任委員長を務めて分かったこと

7名いる民生文教常任委員会の委員長を務め、様々な会議への出席や委員会内での意思決定が頻繁に求められることを実感しました。この経験から特に良かったと思う取り組み4つをあげます。



### 1. 委員会からの要望が実現

初の試みとして議員から所管事務調査を要望し、放課後児童クラブ「ひまわり学級」の施設見学を実施した。議員からの提案を通じて、現場の声を直接聞くことで、改善点を発見することができた。

### 2. 行政視察先の提案

**「子どもの権利条例について」**  
愛知県瀬戸市を訪問し、子どもたちだけで市政について議論する機会を持ち、大人がそれを聞くことの重要性を学んだ。本市でも同様に子どもたちの考えを市政に取り入れることを促進したい。

**「まちなか図書館について」**  
愛知県豊橋市を訪問し、おしゃべりしてもよい空間のある新しい図書館に、地域社会に活気をもたらす可能性を見た。このモデルを参考に、本市でもコミュニティの中核となる施設はやはり大事だと感じた。  
※詳しい報告内容は芦屋市HP「視察報告」に掲載しています。

### 3. 議会報告会のテーマと対話を提案

毎年開催される議会報告会のテーマとして、「子育てと教育～魅力ある芦屋の未来のために～」を提案。市民と議員が円卓を囲んで対話形式での意見交換に挑戦したことにより、市民との交流が一層深まった。

### 4. 委員会討議による合意

陳情と請願がそれぞれ全会一致となり、2つの意見書を委員長として私の名前で提出しました。それは「保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書」と「教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引上げに係る意見書」です。これまで同様の要望は不採択になりがちでしたが、今回は委員の皆様建設的な議論とご理解により、実現することができました。



## たかおか知子のこれからの取り組み

### ●今後の争点と期待すること

今後、市長と議員の争点となりそうなのは、神戸市との一般廃棄物処理施設の広域連携協議と芦屋市が単独で炉を持つ計画が並行していることです。神戸市の施設場所次第で最適な選択が異なるため、慎重な判断が必要となってきます。期待している点としては、企業からのふるさと納税で市の財政基盤強化を目指す取り組みや、令和6年度にデマンド交通(利用者の需要に応じて運行する柔軟な交通サービス)の実証運行を開始することです。もっと充実させたいことは、子どもの放課後の居場所づくりです。市には、地域コミュニティや関係団体と連携し、子どもたちが安心して過ごせる環境の整備を求めています。

### ●「子どもの未来を守りたい会」結成のお知らせ

2024年5月18日に「子どもの未来を守りたい会」のキックオフを開催しました。この日は、小学生の子どもを持つお母さんと2人の専門家(産婦人科専門医、健康運動指導士)との交流をかねて、共にディスカッションを行いました。今後は様々なテーマを取り上げ、対話を通じて課題を見つけ、輪を広げていきます。家族で共に考え、話せる機会を提供できるような会を目指し、議員として質問内容につなげて市政に反映させます。「もっと知りたいこと」「知ってほしいこと」を繋げて、正しい知識を広げていきます。イベントのお知らせは、たかおか知子のHPまたはSNSで発信しますので、お気軽にご連絡ください。今後も多くの方々と交流し、社会全体で子どもの未来を支えることを考えます。



あなたのご意見を  
たかおか知子に  
聞かせてください。  
お問い合わせから…



たかおか知子は  
SNSで随時  
情報発信中です!  
リンクツリーから…



●ホームページも随時更新中です!

→たかおか知子

検索

芦屋市議会議員 孝岡知子(たかおか ともこ)  
事務所: 芦屋市清水町 TEL:070-4332-6414 E-mail: mail@takaoka-tomoko.me  
発行: 芦屋し民の未来 発行年月日: 2024年6月